

(十四丁ウゝ十五丁オ)

- ① 簾すだれをあたらしくかゆると見れば、きりようよき妻つまをむかゆるなり、
- ② かうもりむらがりとぶとミれば、ひそかに物ものを談だんじるにかならずよし、
- ③ 婦人ふじんわれにいふくをきせるとミれば、大いなる吉きつさうなり、ばんじつがふよし
- ④ 他人たにんわれに釜をあたゆると見れば、今金ぎんをまふけおもひがらざるよろこびあり、
- ⑤ 又ほっき箒をもらふと見れハ、大いに家ぎやうはんじやうするなり、
- ⑥ びやうぶうしぜんとわれにもたれさわると見れば、他人たにんよりわれをたすくる事あり、よろづさいわいありておふいによし、
- ⑦ 冬瓜石かもうりいしの上に生しやうすとミれば、凶事きようじをまねく事あり、
- ⑧ 天よりぜにをふらすとミれば、諸事しよじきよせつを虚説多し、つゝしむべし、
- ⑨ かまきりを見るときハ、よろづあきらかならざる事ありてしんろう多し、
- ⑩ むかで人の足をかむと見れば、いのちながきしるしなり、大いによし、
- ⑪ けらあり人をかむと見れば、大いに吉事ありてよし、
- ⑫ 糞虫くそむしおほく生ずと見れば、きんぐを得て吉事なり、
- ⑬ あらたに仏像ぶつざうをつくると見れば、ばんじにつがふよくおゝいに吉さうなり、